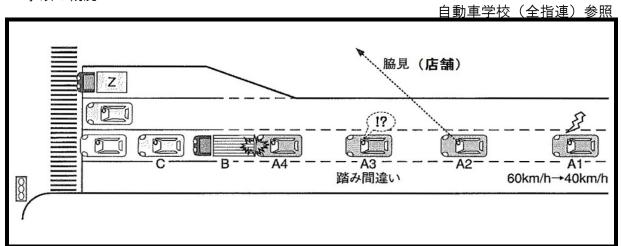
## ■事故の概況



事故類型:追突

発生日時:1月 午後4時頃 晴れ 当事者A:普通乗用車 70歳代 男性 当事者B:普通貨物車 40歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは、時々通行する片側3車線の幹線道路を、先行する車もなく時速約60kmで走行していました。約80m先に赤信号で停止しているB車やC車など何台か見えたので、Aも停止に備え、時速約40kmまで減速したのですが、その時、前方の信号が青に変わり、右折車線上のZ車が発進したのが見えました。当然B車、C車も直ぐに発進するものと思いつつも、さらに減速しながら何となく気になっていた店の方に脇見をしました。2~3秒の脇見のあと視線を前に向けると、もう発進していると思い込んでいたB車、C車がまだ停止しているのを発見し、慌ててブレーキペダルを踏もうとしましたが、間違えてアクセルペダルを踏んでしまい、加速してB車に追突し、さらにB車がC車に追突しました。

Bは、赤信号のためC車の後ろに停止していて、信号が青に変わりましたが前方が渋滞していたのでそのまま停止していました。

## ■ 事故から学ぶ

この事故の直接の原因は、Aのペダルの踏み間違いですが、その前の脇見という行為がなければ、慌ててペダルを踏み間違えることはなかったと思われます。脇見が危険であることは誰でも分かっているのに、ちょっとした油断から脇見をしてしまったのです。

Aが脇見をしていたため、信号や他車(ここではZ車)の動きだけを見て、前方のB車、C車も発進したものと思い込んでしまったことが事故の要因です。周囲の車や歩行者の動きは必ず自分の目で確認することが大切です。